

戸手学区まちづくり推進委員会

委員長 檀田 壽正

（問合せ先） 0847-52-5539（戸手公民館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

- (1) グラウンドゴルフ大会 (中止)
- (2) 女性研修 (7月 5日)
(10月20日)
- (3) 環境教育事業 (2年度通年)
- (4) 戸手学区ふれあい祭り (中止)
- (5) きずな 話 和 輪 (1月19日～3月19日)
- (6) まちづくり講演会 (3月 6日)
- (7) 子育て支援事業 (毎月第2金曜日)
- (8) 広報活動『ふれあいとで』発行 (年6回発行)
- (9) 生活安全活動事業 (2年度通年)
- (10) お困りごと相談電話事業 (2年度通年)
- (11) 地域環境対策事業 (2年度通年)
- (12) 安心・安全な地域防災 (2年度通年)
- (13) 環境整備事業
(グリーンカーテン・ばら整備事業) (2年度通年)
- (14) コミュニティー推進事業 (2年度通年)
(ゴミ分別・納税推進含む)
- (15) 団体負担金（明るいまちづくり）(2年度通年)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業 (2年度通年)



【きずな 話 和 輪】
コロナ禍にも負けず
日頃の積重ねを発表♥



成果

コロナ禍における事業推進の手法として分散開催などの新たな実施形態の模索や昨今の急激な気候変化への対策として自主避難所開設ができるよう体制整備に取り組むことができた。

課題

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を見据えつつ、事業運営の在り方、中止行事をはじめとした事業の内容の見直し・再構築が大きな課題となっている。

課題解決にむけて

実施事業の内容と参加人員・参加形態の見直しを行い、コロナ禍という限られた条件の中でもより効果が得られるかたちでの事業となるよう工夫を行っていく。



【まちづくり講演会】
オカリナαさんによる
トーク&ライブ
柔らかな演奏に心癒されました
〈飛沫防止パーティションを
設置して行いました〉

晴天のもと、メダカの学校開催！

開放感あふれる校外学習に歓声

毎年、戸手小4年生を主な対象として、環境について学ぶ機会を設けています。

今年度も環境教育事業『メダカの学校』を、6月22日に中戸手メダカ育成会会長吉岡稔之さん宅の庭において、戸手小学校の4年生68人と地元ボランティアの参加により開催しました。

かつて自然にあふれていた戸手川には、多くのメダカが泳ぎ、虫が舞っていましたが、気が付けばごみが散乱し、汚れた川へと変貌していました。こうした中、戸手川をきれいにし、メダカの住める川を取り戻したいとの思いから多くの仲間が集い、住んでよかったと思えるような住みよい町にするための取組が始まり、その象徴としてメダカの飼育が始まりました。

そして、この活動の一環として、子どもたちに自然環境や生命の尊さに関心を深めてもらうことを目的に『メダカの学校』が開催されています。子どもたちは、メダカの生態についての講義の後、多くの水槽で元気に泳ぎ回るメダカに興味深くのぞき込んだり、顕微鏡でメダカの卵を観察したり、気が付けば自然を守ることの大切さや生き物を思いやる心が知らず知らずの内に学べた貴重な時間となりました。

この事業は屋外活動となりますが、戸手小学校との協議のうえ、参加児童を半数ずつの2班に分けるとともに、マスク着用で、一作業ごとに消毒液を使用しながら新型コロナウイルス感染対策を講じて実施しました。



【多くの水槽を見学しながら、めだかの里育成会の方からの説明を受けました】



【講師の吉岡さんから説明を受けています】



【メダカの卵を顕微鏡で観察する児童】
動く心臓に驚き、興味津々！！



【説明を受け、一生懸命にメモを取る児童】